

教員採用選考テストの志願者数を発表

府教委は、本日（6/5）、「令和3年度大阪府公立学校教員採用選考テスト志願者数(速報値)について」を報道発表しました。

発表資料は、添付資料のとおりです。なお、教科・科目別といった詳細な志願者数(確定値)は後日公表予定です。

<高等学校の志願者数・倍率>

	採用予定数	志願者数	倍率
2019年度（確定値）	約200名	2,330名	11.7倍
2020年度（確定値）	約200名	2,037名	10.2倍
2021年度（速報値）	約210名	1,975名	9.4倍

いまこそ教職員の抜本増で、ゆきとどいた教育を

子どもへの手厚く柔軟な教育、感染症対策のためにも、少人数学級が必要です。政府は、第2次補正予算案で教員増を盛り込みましたが、小中学校3,100人に留まり、10校に1人しか配置されない計算です。さらに高校については除外されています。

日本教育学会は、平均1校あたり小学校3人、中学校3人、高校2人の教員を加配する10万人の教員増を提言※しています。10万人規模の抜本増は、感染症対策、よりゆきとどいた教育の実現だけでなく、教職員の長時間過密労働の解消へつながっていきます。府高教は、引き続き教職員の定数増を求めて全力をあげます。

※「9月入学よりも、いま本当に必要な取り組みを—より質の高い教育を目指す改革へ—」

今月末から採用試験が始まります。分会は、採用試験を受験する期限付講師・非常勤講師の人に志願状況について知らせるとともに、採用試験勉強・面接練習などでの援助や、仕事が過重負担にならないようにするなどの配慮を行うようにしましょう。

申し込み間に合いますよ！！

「めざとも（教採面接練習会）」

6月13日(土)、21日(日)

ともに13:30～

大阪府教育会館(たかつガーデン)



／／だからみんなで！あなたも府高教へ！／／